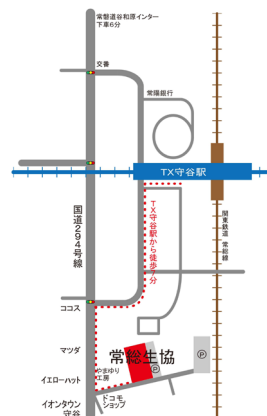


11/27 講演会「GM食品と農薬」のご案内

2016 秋の市民公開講座

GM食品と農薬

核と原子力、遺伝子操作、農薬、身近に溢れる化学物質……。私たちの生命と環境を脅かす現代の科学技術。なぜ社会はそんなことを進めるのか。遺伝子組換え食品のリスク、農薬が子どもたちの脳に及ぼす危険性を訴えてこられたお二人を迎えて、その社会的背景と、いのちを守るために私たち市民は何をすべきかの提案を聞く。



【日時】 2016年 11月27日（日） 10:00～15:30

【会場】 常総生協本部 2F 組合員活動室

(茨城県守谷市本町 281 tel0297-48-4911 つくばエクスプレス守谷駅下車徒歩7分、常磐高速道「谷和原インター」下車10分)

【午前の部】 10:00～12:00 (参加費 500円)

遺伝子組換え食品いらないキャンペーン 20周年記念講演
モンサントによる谷和原村でのGM大豆栽培事件から 13年

「遺伝子組換え食品のいま」

天笠啓祐さん

(遺伝子組換え食品いらないキャンペーン代表)

農薬とワンセットの遺伝子組換え (GM) 作物栽培と輸入がはじまって 20年。「遺伝子組換え食品いらない！キャンペーン」を結成して反対運動を先頭で担ってきた天笠さんの 20周年記念講演。驚くべき「ゲノム編集技術」の開発についてもお話し頂きます。



【昼食】お昼の時間帯には有機食材での簡単なお料理を提供します。あわせて有機の生産者の紹介、即売もいたします。

【午後の部】 13:30～15:30 (参加費 500円)

「農薬が子どもの脳に及ぼす影響」

黒田洋一郎さん

(元東京都神経科学総合研究所参事研究員)

(付) 安心の有機農産物を子どもたちに
保育園と提携協同した有機給食の実践報告 (魚住農園)



浸透性にすぐれ殺虫効果が持続する農薬「ネオニコチノイド系」農薬。有機リン系農薬・ネオニコチノイド系農薬の子どもたちの脳に及ぼす危険性を警告し続けている脳神経の専門家黒田先生に農薬と脳神経への影響について最新の知見、世界の研究動向を聞きます。

参加申込・問い合わせは常総生協まで tel 0297-48-4911 もしくは常総生協 HP まで→

【主催】 常総生活協同組合・茨城県有機農業研究会

※この企画は地域の保育園・幼稚園にも呼びかけています。地元の無農薬・有機の野菜を使った給食を実施してもらえるように地元生産者と出会う機会にします。



GM食品と農薬